

山ノ内町都市計画マスタープラン 地区別懇談会 北部地区

日 時：令和4年9月21日（水）19：00～20：15

場 所：すがかわふれあいセンター

出席者：5人

- 1 挨拶
- 2 自己紹介
- 3 資料説明
- 4 質疑及び意見

（地元） 2ページの対象範囲について、行政区域全域を対象としたということですか。マスタープランで国立公園の中も対象にしたのは、何か特別な意味があるのですか。

現行のマスタープランでは国立公園は入っていない。国立公園については、都市計画法は適用できないですね。なので範囲に入れていないのだけれども。「山ノ内都市計画区域を中心としながら、総合的なまちづくりを推進するため、行政区域全域を対象」としたのですか。

（事務局） これまでも、国立公園も都市計画区域に入っていました。志賀高原も入っていました。入っていなかったのは、岩菅国有林だけです。岩菅国有林というのは山ノ内町の行政区域。この図面でいうと、この赤線から右側が岩菅国有林と考えてもらえればいかと。

（事務局） 本計画は都市計画法に基づきながら策定していく中で、町としては都市計画以外のところもまちづくりの土地利用の方針として入れさせてもらっております。ユネスコエコパークとも連携して守っていきたい。そういった方針を記載したいため含めております。

（地元） 3ページについて、社会状況の中に人口問題が入っていない。集落地の居住環境の改善、社会状況の中で人口減少、全町的に人口減少が問題になっているということが最初の都市整備の課題であるが、この中で山ノ内の人口減少という問題では北部と東部が一番進んでいると思っているここではあえて入れなかったというのは、前段で入っているから具体的な施策のところでは入れなかったということですか。

（事務局） その内容については、他の地区でもご指摘・要望がありまして、

追記した方がよいと思っています。雇用を創出したり移住定住を促進したり、その課題となる部分を文章化していった方がいいということは言われているので、そういった方向にしていきたいと思います。

(地元) (3)の土地利用の方針で、町営住宅の除却、除却後の跡地利用を検討するということだが、現状、全て埋まっているのではないか。

(事務局) 今は2軒入っている。

(事務局) 公共施設整備検討会議というのがあって、町が持っている施設を将来的にどうしていくのかという中で、テーマが挙がっている。湯ノ原の町営住宅みたいにリフォームして将来的に使っていく。この町民住宅については、部分的な改修、維持・修繕の部類になる。その上で、大規模改修が必要な状況になったら壊すという方向性になると示されている。

(地元) 今すぐという話ではないのですか。

(事務局) そうです。

(地元) 空き家対策について、もっと強く出してほしかったなと思います。

一番町内へ移住しづらいのは住むうちがないということです。住むところがあればもっと人が来る。なので文章では超積極的に取り組みますみたいにしてもらわないと。空き家も、ただ壊すだけではなくて有効利用する。もう少し町が間に入って取り組んで欲しい。

付け加えですけど、空き家はそれなりにあるのだけれども、あまりにも大きすぎて手が出せない。もっとコンパクト空き家を若者は欲しいと言っていました。

(地元) 一軒家でなければ駄目。

(地元) 一軒家も必要なのだけど、少し小さくてこぎれいな住宅も欲しいと言っている。そういうのがないと言っているのです。空き家バンクもあるが、仏壇などが残っていて、なかなかバンクに登録してくれないという問題もある。

(事務局) 去年、景観ウォーキングを実施した。その中で結構大きな一軒家があった。ニーズというのは幅広いので、どれがいいとは言えないのですが、確かに種類はあった方がいい。ですので、マッチングの部分では民間の情報・技術などを有効に生かしていただいて。町では、移住定住の方を頑張ってやっていますので、そういった方面の方たちとも協力し合ってやっていこうとしています。

(事務局) 去年町民住宅に入ろうかどうか迷っていた方がいて、実際に現地を見てもらったりして。木島平村と山ノ内で悩んでいた方がいて、結果的に木島平村に行かれた。若い人は、住むだけではなくて就職、お金を稼ぐ手段も当然必要になってきますので、住むだけではなくて、やはり就職、雇用、そういったことが大事。

(地元) 雇用は、観光を伸ばすしか方法がないでしょう。農業で食ってはいけない。西部では農地が増えて、空き地がなくなってしまった。空いていたところは全部ブドウになった。北部はで夏冬で仕事を二つ持って通うのもいいと思う。

(地元) 中野市では。農業で移住して、中野で農業をやって、近隣のスキー場へ遊びに来るといふ若い人が結構いる。中野市は若い農業従事者が多いのですよ。だから、そういう人が山ノ内に来てくれればいいなと思っている。

(地元) 山ノ内だって農業中心で十分できるのだから、やはり住む場所。

(地元) 今、移住希望者もいっぱいいると思うのだよね。そういう人たちの要求を満たすように、例えば町で造成して新築の適度な家を20戸ぐらい整備するとか、そういうような工夫はいいですよ。

(地元) 土地でもいいですよ。土地さえあれば、新しく若い人は自分の好きなように作る。町には新築に係る補助金がある。

(地元) 人口流出を食い止めるにはアクセス向上が必要。年を取ると交通が不便でなかなか住めない。

(地元) 基本的に町は、人口を今よりも増やしていきたいのですか。それとも、減っていくのを維持しようとしているのか、どちらの方向なのですか。減っていくのをもう想定して、それに対応するまちづくりをしようとしているのか。何らかの施策で、人口を増やそうとするのか、どちらの方向へお考えなのですか。

(事務局) 人口増対策というのなかなか難しいが、今、こういう時代なので、企業誘致をしなくても、宿泊施設・空き家を活用してリモートワーク用の施設として活用するという方法はある。そうはいっても、爆発的に人口が増えることは望めないのだから、減っていく幅を極力抑えるようにということです。

都市計画と簡単に言ってしまうと、土地利用とかそれこそ道路整備とかそういったところに重点を置かれるのですが、国や県はコンパクトシティと言っ

ている。そうはいつでも、山ノ内町がこうやって東西南北広いエリアにそれぞれ自分たちがいいと思って暮らしているわけですから、1箇所全部集めてというのは、今回の計画では目指していません。それぞれのエリアごとにいいものを増やして、足りないところは整理してということの大まかな方針になっています。ただ、それを個別具体的な施策としてお金の概算算出してやっていくというのはまた別のところで検討することになります。

(地元) 3 ページの環境、景観とあるではないですか。県の景観条例との整合性というのはここでうたわなくていいのですか。景観条例では、国道 403 号の沿線は規制されている。だから、そこに合わせた景観形成するのか、また別個に町が作るのか、そこだけはっきり言えないのかなど。県と町がばらばらな景観の対策というのはこれもおかしいので。

あと、遊休農地の有効活用というのは、もう無理です。人口が減って行って、農地が荒れる、後継者がいない。それを有効活用するといったって、無理です。農地法に触れる何か制度を使うしかないのです。

(地元) 今の区長の言葉を補足すると、政策的には農地・農家を守るのかということなのだよ。農家というのはそこに住む人だよ。その人の生活を税金使って無理矢理守るのか。そばであっても北海道ではもっと生産性良く収穫できる。そこで無理やってしても。それよりは、流れを少し変えて行って、それはもう文化財的なものにして、すこし違う方向へ誘導した方がいいというのが真実だと思うのだよ。あまり積極的ということではなくてね

(地元) 須賀川は土日農業なのだ。土日農業をやるには、機械が必要。その機械を買うために、仕事へ行って、給料とボーナスで農業機械を買って土日でやっている。だから、若い人がそれをするわけないのだよ。

(地元) 3 ページなのだけでも。道路の交通体系について、市街地などと連携する公共交通ネットワークの充実とある。ここで言っている市街地というのは湯田中周辺のことを言っているよね。僕からすると、湯田中周辺の市街地ではなくて、中野の方なのです。公共交通ネットワークの充実なんて厳しいのは分かっている。だから、これが長野電鉄だっていつ撤退するのか分からないこの将来像の中にはもう撤退は含んだものも想定しておかないと、無理ですね。長野電鉄さんがかけている費用を公共ネットワークに使えばもっと充実したのができるはず。そんなものを側面的な面で検討した方がいい。

(地元) 楽ちんバスも地元住民しか乗れないというのが問題だよ。やはり観光地として生きていくなら、誰でも乗れるようにすべき。須賀川の人山ノ内町で買い物しないで、イオンへ直行で行く。それはないと思うのだよ。バスは湯田中まで行ってそこで電車で行ってもら。湯田中での乗り換えが大変

な人は、そもそもバスが無理だから。やはりあのバスを誰でも乗れるバスに持って行ってほしいと思う。

（事務局） そのご意見が他の地区でも出ていまして。頂いた意見やご提案は紹介して文書にしようかなと思っている。この目標というのは20年という長いスパンでみている。DX推進室というのを役場に設置して、技術等を研究していて、20年後はもしかしたらシニアカーと呼ばれるものがもう少し大きくなった自動運転の車が出るのではないとかそんな世界になってしまっているかもしれない。DXの推進と絡めて多角的にいろいろと検討していきたい。

（地元） あと一つ、テレワークと移住、定住みたいなものとセットで何か考えられないかなと。例えばホテルなんか空いてしまったから、そこを整備してネットワークをきっちり整備して企業を誘致するとか。シーズンは限られるかもしれないけども、もっと進むと思うのだよね。そうすると、高い都会に家賃を払う必要がなくなってくる。

（事務局） 以上をもちまして、山之内町都市計画マスタープランの地区別懇談会北部地区を終了いたします。ありがとうございました。